

～ 福岡日伊協会映画鑑賞会のご案内 ～

第165回上映作品

追悼フランチェスコ・ロージ

『シシリーの黒い霧』

Salvatore Giuliano

2015年1月10日、フランチェスコ・ロージ監督が亡くなりました。

1922年11月15日、イタリア、ナポリで生まれ、ナポリ大学法科を中退し、地元の放送局で台本、演出を手掛けていたが、24歳の時、同郷のエットレ・ジャンニーニ監督を頼り、ローマへ出て、舞台演出家の道を目指します。48年にネオ・レアルスモの中心人物の一人、ルキーノ・ヴィスコンティ監督と知り合い、共鳴したロージは、シチリア島の貧しい漁民の反抗と挫折を描いた「揺れる大地」の助監督でヴィスコンティの横につきます。

その後、M・アントニオーニや、M・モニチェッリらの助監督も勤め、36歳で処女作「挑戦」（ナポリのカモッラの実録犯罪）で監督デビューし、57年ベネチア映画祭グランプリを得ます。以降、イタリア南部、シチリアの貧困とマフィア問題に徹底的にこだわり、「コーザ・ノストラ」・「パレルモ」「予告された殺人の記録」などを描きました。

「シシリーの黒い霧」はロージ3作目の作品で、原題は「サルヴァトーレ・ジュリアーノ」ジュリアーノは、第二次大戦後にシチリアに横行した山賊団の首領で、義賊と呼ばれていた。

後に、マフィアと手を結び、ポルテッラ・デッラ・ジネストラの虐殺で社会主義運動を弾圧したが、1950年部下に射殺されたその死にまつわる謎に挑んだ作品です。

この作品をロージ監督に捧げご冥福をお祈りします。

(解説：湯越勘一氏)

※ 20時以降 美術館は閉館につき入館できませんのでご注意ください。

※ 館内での飲食は厳禁ですのでご注意ください。

データ

監督	／フランチェスコ・ロージ	出演	／ピエトロ・カンマラータ フランク・ヴォルフ
原案・脚本	／F・ロージ スーズ・チェッキ・ダミーコ エンツォ・プロヴェンツァーレ フランコ・ソリナス	音楽	／ピエロ・ピッチョーニ
		美術	／セルジョ・カネヴァーリ カルロ・エジーディ
撮影	／ジャンニ・ディ・ヴェナンツォ		

1961年 124分

記

日時：2015年6月2日（火）19:00～21:00

会場：あじびホール（福岡アジア美術館8F）TEL092-263-1100

（福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル）

入場料：無料 先着120名（直接会場へお越しください）

問合せ：福岡日伊協会 担当 井口

TEL 092-476-2153（西日本シティ銀行内）

★ 今後の上映予定 ★

2015年8月21日（金）19:00 あじびホール
ピエル・パオロ・パゾリーニ監督作品「大きな鳥と小さな鳥」